

# 金沢美術工芸大学履修等に関する規程

平成 22 年 4 月 1 日  
規程第 37 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、金沢美術工芸大学学則（平成 22 年規程第 1 号。以下「学則」という。）第 41 条の規定により、教育課程、履修方法、成績考査、進級及び卒業の取り扱いに関する事項を定めるものとする。

(授業科目の区分)

第 2 条 本学が開設する授業科目は、次のとおりとする。

- (1) 一般教育科目（教養科目、外国語、保健体育）
- (2) 専門教育科目（基礎科目、専攻科目）
- (3) 教職に関する科目
- (4) 博物館に関する科目

(授業科目及び単位配当)

第 3 条 前条の規定に基づく授業科目及び単位の各年次の配当は、別表第 1 から別表第 6 までのとおりとする。ただし、都合により臨時にその一部を変更することがある。

(修得すべき単位数)

第 4 条 学生は、別表第 1 から別表第 4 までに規定する単位を、学科、専攻等に応じて修得しなければならない。

- 2 教員の免許状を取得しようとする学生は、前項の規程による単位のうち日本国憲法及び体育実技を含めて修得するとともに、別表第 5 に規定する単位を修得しなければならない。
- 3 学芸員となる資格を取得しようとする学生は、第 1 項に規定する単位とともに、別表第 6 に規定する単位を修得しなければならない。
- 4 学生は、前 3 項に規定する単位以外に、当該学科、専攻において開講されている授業科目以外の授業科目の単位を希望に応じて履修の申請をする事ができる。

(時間割)

第 5 条 授業時間割は、毎学期の始めに所定の場所に掲示する。

(履修科目の届出)

第 6 条 学生は、毎年度の始めに、定められた期日までにその年度に履修する選択科目と自由科目を届出なければならない。この場合において、届出期限後の履修科目の変更は別に定めるもの以外は認めないものとする。

(履修登録単位数の上限)

第 6 条の 2 学生が 1 年間に履修登録できる単位数は、50 単位未満とする。ただし、教職に関する科目及び博物館に関する科目（選択履修科目は除く。）の単位数は、これに含めないものとする。

(研修旅行及び学外学習)

第 7 条 学生は、授業科目の一部として大学、学科、専攻等において立案実施される研修旅行、学外実習、その他行事には必ず参加しなければならない。

(成績の考査)

第 8 条 成績の考査は、試験、課題審査、学習報告及び平素の学習状況により行うものとする。

- 2 成績考査の評価は、S（秀）、A（優）、B（良）、C（可）又は D（不可）の評語で示し、S（秀）、A（優）、B（良）及び C（可）を合格とし、D（不可）を不合格とする。
- 3 再履修においての評価が以前の評価の上位である場合は、上位の評価に改めるものとする。

る。

4 成績考査の評価の発表は、次の学期の始めに本人の請求に応じて知らせる。

(単位の認定)

第9条 合格科目については、その科目の修了を認め単位を認定する。

2 必修並びに選択科目以外に履修した科目は、自由科目として認定する。

3 次の各号のいずれかに該当する場合は、認定されない。

(1) 成績考査の結果が不合格の科目

(2) 欠席時数がそれぞれ行われた授業時数の3分の1を超える科目

(3) 試験で不正行為のあった科目

4 一度履修した科目(授業科目が細分化されている場合は、当該細分化された授業科目をいう。)と同一の科目を再履修しても修得単位数は単一回分しか認定しない。

5 類似科目について、科目名を読み替えて単位を認定する必要がある場合は、教授会の議を経なければならない。

(試験)

第10条 試験は、每学期末までに行なう。

2 疾病その他やむを得ない事由のため試験を受けられなかつた場合は、すみやかに届出て追試験を受けることができる。追試験は、原則として試験後1週間以内に行うものとする。

3 次の各号のいずれかに該当する場合は、試験を受けることができない。

(1) 授業時数の3分の1を超えて欠席した科目

(2) 授業料を完納していないとき。

4 学生は、監督教員の指示に従い受験しなければならない。指示に従わない場合は、退場を命ずることがある。

5 学生は、学生証を必ず携帯し、監督教員の請求があればいつでも提示しなければならない。

(進級の認定)

第11条 進級の認定は、学年末の休業以前に行う。

2 所定の単位を修得した学生については、進級を認定する。

(卒業の認定)

第12条 卒業の認定は、学年末の休業以前に行う。

2 第4年次の定められた期日までに、所定科目の全単位を修得した者については、卒業を認定する。

3 修得すべき単位を1単位以上欠いた者については、卒業を認定しない。

(留年)

第13条 次の各号のいずれかに該当するものは、原級に留まらなければならない。

(1) その年次において修得すべき単位のうち、未修得単位数が10単位を超える者。この場合において、以前の学年において未修得の単位はこれに加算しないものとする。

(2) 専攻科目の実習又は演習の科目で、別表第7に掲げる授業科目のうち定められた履修年次に履修すべき授業科目の一以上の単位が認定されなかつた者

(3) 卒業が認定されない者

(4) 休学により前各号の一に該当した者

(同一学年での留年)

第14条 同一学年に2年間留まってなお進級又は卒業できない場合には、学則第30条第2号の規定により除籍される。ただし、留学又は疾病を理由とする休学による留年は、3年までとする。

2 授業日数の全部を休学した年度については、前項の留年に数えないものとする。

(教育実習)

第15条 教育実習は、別に定める科目を修得した者に限り、受講できるものとする。

(授業日程等の連絡)

第16条 集中講義、休講及び補講等の教務関係の連絡については、すべて所定の場所に掲示する。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者に係る履修等については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規定は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規定の施行の日前に、改正前の金沢美術工芸大学学則（以下「旧規程」という。）別表第4に規定する授業科目（以下「旧科目」という。）の単位の全部を修得した者は、改正後の金沢美術工芸大学履修等に関する規程（以下「新規程」という。）別表第6に規定する授業科目（以下「新科目」という。）の単位の全部を修得したものとみなす。
- 3 平成24年3月31日に在学している者で、卒業するまでに旧科目の単位の全部を修得した者は、新科目の単位の全部を修得したものとみなす。
- 4 平成24年3月31日に在学している者で、卒業するまでに次の表中新科目の欄に掲げる授業科目の単位の全部を修得した者は、当該科目に相当する旧科目の欄に掲げる授業科目の単位の全部を修得したものとみなす。

新科目	単位数	旧科目	単位数
博物館教育論	2	教育の本質と目的	2
博物館情報・メディア論	2	視聴覚教育メディア論	2
博物館実習Ⅰ	2	博物館実習Ⅰ	1
博物館実習Ⅱ	1	博物館実習Ⅱ	2
博物館概論	2	博物館学	6
博物館経営論	2	視聴覚教育メディア論	2
博物館資料論	2		
博物館情報・メディア論	2		

- 5 この規定の施行の日前に、次の表中旧科目の欄に掲げる授業科目の単位の全部を修得した者が、新たに学芸員となる資格を得ようとする場合には、既に修得して旧科目の単位の全部を修得した者が、当該授業科目に相当する新科目の単位の全部を修得したものとみなす。

旧科目	単位数	新科目	単位数
博物館実習Ⅰ	1	博物館実習Ⅰ	2
博物館実習Ⅱ	2	博物館実習Ⅱ	1
博物館学	6	博物館概論	2
		博物館経営論	2
		博物館資料論	2
博物館学	6	博物館概論	2
視聴覚教育メディア論	2	博物館経営論	2
		博物館資料論	2
		博物館情報・メディア論	2

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 8 条の規定にかかわらず、平成 30 年 3 月 31 日に在学し、同年 4 月 1 日以後も引き続き在学する者に係る授業科目の履修成績については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成31年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日に在学している者で、卒業するまでに次の表中新科目の欄に掲げる授業科目の単位を修得した者は、当該科目に相当する旧科目の欄に掲げる授業科目の単位を修得したものとみなす。

新科目	単位数	旧科目	単位数
教育方法論・特別活動の指導法	2	教育方法論	2
道德教育の指導法	2	道德教育研究	2
教育相談の基礎と方法	2	教育相談研究	2
生徒指導・進路指導の理論と方法	2	生徒指導論	2

- 3 この規程の施行の日前に、次の表中旧科目の欄に掲げる授業科目を修得した者が、新たに教員の免許状を取得しようとする場合には、既に修得した旧科目の単位は、当該授業科目に相当する新科目の単位とみなす。あ

旧科目	単位数	新科目	単位数
教育方法論	2	教育方法論・特別活動の指導法	2
道德教育研究	2	道德教育の指導法	2
教育相談研究	2	教育相談の基礎と方法	2
生徒指導論	2	生徒指導・進路指導の理論と方法	2

附 則

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

## 別表第 1

## 教養科目

区分	授業科目		履修年次及び単位数				備考
			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
A	哲学Ⅰ	講義	2				A及びBの各区分から1授業科目以上を履修し、総計20単位以上を修得しなければならない。
	哲学Ⅱ	講義	2				
	文学Ⅰ	講義	2				
	文学Ⅱ	講義	2				
	文学Ⅲ	講義		2			
	文学Ⅳ	講義		2			
	心理学Ⅰ	講義	2				
	心理学Ⅱ	講義		2			
	社会学Ⅰ	講義	2				
	社会学Ⅱ	講義	2				
	歴史	講義	2				
	日本国憲法	講義	2				
	文化人類学	講義		2			
	考古学	講義		2			
	生涯学習概論	講義		2			
	人間と文化	講義	2				
	フレッシュマンセミナー	講義	2				
	博物館概論	講義	2				
	金沢の文化行政	講義	2				
	キャリアデザイン	講義	2				
B	情報処理	講義		2			
	スポーツ科学	講義	2				
	物質の科学	講義	2				
	材料の科学	講義	2				
	エコロジー	講義		2			
	科学技術史	講義	2				
	数理科学	講義		2			

## 別表第2

## 外国語科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
英語（一）	講義	4				1 美術科においては、第1年次配当科目で4単位、第2年次配当科目で4単位を必修とする。 2 デザイン科及び工芸科においては、英語（一）及び英語（二）を必修とする。
英語（二）	講義		4			
英語（三）	演習			2		
英語（四）	演習				2	
フランス語（一）	講義	4				
フランス語（二）	講義		4			
フランス語会話（中級）	演習			2		
フランス語会話（上級）	演習				2	
ドイツ語基礎	講義		4			
イタリア語基礎	講義		4			
中国語基礎	講義		4			

## 別表第3

## 保健体育科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
体育実技（一）	実技	1				第1年次と第2年次では、必修とする。
体育実技（二）	実技		1			
体育実技（三）	実技			1		

## 別表第4

## 専門教育科目

## ①基礎科目

授業科目		単 位 数	美術科				デザイン科		工芸科	備考
			日本画 専攻	油 画 専攻	彫 刻 専攻	芸術学 専攻	ホリスティック デザイン専攻	インダストリアル デザイン専攻		
映像メディア	演習	1	①	①	①	①	①	①		
日本美術史Ⅰ	講義	2	①	①	①	①	①	①	①	
日本美術史Ⅱ	講義	2	①	①	①	①			①	
美術解剖学	講義	2	①	①	①					
東洋美術史Ⅰ	講義	2	①	①	①	①	①	①	①	
東洋美術史Ⅱ	講義	2	①	①	①	①				
西洋美術史Ⅰ	講義	2	①	①	①	①	①	①	①	
西洋美術史Ⅱ	講義	2	②	②	②	②				
彫刻Ⅰ	演習	1	①	①						
彫刻Ⅱ	演習	1	②	②						
絵画Ⅰ	演習	1			①					
絵画Ⅱ	演習	1			②					
図学	講義	2							①	
版画	演習	1				②				
美学	講義	2	②	②	②	②				
工芸史Ⅰ	講義	2				②			②	
工芸史Ⅱ	講義	2				②				
近代美術史	講義	2	②	②	②	②				
色彩論	講義	2	☆2	②	②		②	②		
デザイン心理学	講義	2					②	②		
美術工芸特論	講義	4				③				
コンピュータグラフィックス	講義	2	☆3	③	③	③			②	
建築論	講義	1					③	③		
専門英語演習A	演習	1					④	④	③	
専門英語演習B	演習	1					④	④	③	
専門語学（英語）	演習	2				★3				
専門語学（フランス語）	演習	2				★3				
専門語学（ドイツ語）	演習	2				★3				
専門語学（イタリア語）	演習	2				★3				
専門語学（中国語）	演習	2				★3				
専門語学（古文）	演習	2				★3				
工芸技法	演習	2	☆1~4							
現代美術演習	演習	2	☆1~4							
絵画Ⅰ	演習	1				▲3	▲1			前半
	演習	1				■3	■1	■1	■2	後半
絵画Ⅱ	演習	1						①		前半
	演習	1					■1			後半

授業科目	単 位 数	美術科				デザイン科		工芸科	備考
		日本画 専攻	油 画 専攻	彫 刻 専攻	芸術学 専攻	ホリスティック デザイン専攻	インダストリアル デザイン専攻		
絵画Ⅲ	演習	1			▲ 3	▲ 1			前半
	演習	1			■ 3	■ 1	■ 1	■ 2	後半
彫刻Ⅰ	演習	1				▲ 2			前半
	演習	1					■ 2	■ 1	後半
彫刻Ⅱ	演習	1				▲ 2			前半
	演習	1					■ 2	■ 1	後半
デザインⅠ	演習	1	▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 1		▲ 2	前半
	演習	1	■ 1	■ 1	■ 1	■ 1			後半
デザインⅡ	演習	1	▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 1		▲ 2	前半
	演習	1	■ 1	■ 1	■ 1	■ 1			後半
デザインⅢ	演習	1	▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 1		▲ 2	前半
	演習	1	■ 1	■ 1	■ 1	■ 1			後半
工芸Ⅰ	演習	1	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2		▲ 2	前半
	演習	1	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2		後半
工芸Ⅱ	演習	1	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2		▲ 2	前半
	演習	1	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2		後半
工芸Ⅲ	演習	1	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2		▲ 2	前半
	演習	1	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2		後半
工芸Ⅳ	演習	1	▲ 2	▲ 2	▲ 2	▲ 2		▲ 2	前半
	演習	1	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2	■ 2		後半
映像メディア	演習	1						①	前半
	演習	1							後半
芸術と批評	講義	2							
保存修復概論	講義	2							
造形表現工房Ⅰ（メディア）	演習	1							
造形表現工房Ⅱ（平面）	演習	1							
造形表現工房Ⅲ（立体）	演習	1							
造形表現工房Ⅳ（素材・技術）	演習	1							
造形表現工房Ⅴ（社会環境）	演習	1							
造形表現工房Ⅵ（語学・理論）	演習	1							
必要履修単位数			29	29	29	38	18	18	20

1. ○は必修科目で、○内の数字は履修学年を示す。

2. ▲、■、☆、★は選択必修科目で、右横の数字は履修学年を示す。▲、■については記号及び履修学年が同じ科目の中からそれぞれ1単位を選択履修する。

日本画専攻においては、これらに加え☆印の科目の中からさらに4単位を、また、芸術学専攻においては、これらに加え★印の科目の中からさらに4単位を、それぞれ選択履修すること。

3. 備考欄の「前半」「後半」については、基礎科目の集中履修期間を示す。



② 専攻科目

(ア) 美術科 日本画専攻科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
日本画(一) I	実習	4				全科目を必修とする
日本画(一) II	実習	8				
日本画(二) I	実習		4			
日本画(二) II	実習		9			
日本画(三) I	演習			6		
日本画(三) II	演習			14		
日本絵画史特講	講義			2		
日本画(四) I	演習				6	
日本画(四) II	演習				12	
計		12	13	22	18	

(イ) 美術科 油画専攻科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考	
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		
油絵(一) I	実習	4				全科目を必修とする	
油絵(一) II	実習	8					
油絵(二) I	実習		4				
油絵(二) II	実習		8				
版画 I	演習		1				
油絵(三) I	演習			6			
油絵(三) II	演習			13			
版画 II	演習			1			
西洋絵画史特講	講義			2			
油絵(四) I	演習				6		
油絵(四) II	演習				12		
計		12	13	22	18		65

(ウ) 美術科 彫刻専攻科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考	
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		
彫刻(一) I	実習	4				全科目を必修とする	
彫刻(一) II	実習	8					
彫刻(二) I	実習		4				
彫刻(二) II	実習		8				
彫刻論 I	講義		1				
彫刻(三) I	演習			6			
彫刻(三) II	演習			13			
彫刻論 II	講義			1			
彫刻史特講	講義			2			
彫刻(四) I	演習				6		
彫刻(四) II	演習				12		
計		12	13	22	18		65

## (エ) 美術科 芸術学専攻科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考
		第1 年次	第2 年次	第3 年次	第4 年次	
芸術学演習（一）	演習	4				全科目を必修とする
芸術学概論	講義	4				
工芸演習	演習	2				
彫刻演習	演習	4				
芸術学演習（二）	演習		4			
芸術学特講	講義		4			
美術表現演習	演習		2			
絵画演習	演習		4			
芸術学演習（三）	演習			4		
芸術論研究	講義			4		
日本絵画史特講	講義			2		
西洋絵画史特講	講義			2		
彫刻史特講	講義			2		
芸術学演習（四）	演習				4	
卒業研究	演習				10	
計		14	14	14	14	

## (オ) デザイン科 ホリスティックデザイン専攻科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考
		第1 年次	第2 年次	第3 年次	第4 年次	
ホリスティックデザイン演習 (一) A	演習	2				全科目を必修とする
ホリスティックデザイン演習 (一) B	演習	2				
形態演習	演習	2				
描出演習	演習	2				
色彩演習	演習	2				
発想演習	演習	2				
素材演習	演習	2				
情報演習	演習	2				
ホリスティックデザイン演習 (二) A	演習		6			
ホリスティックデザイン演習 (二) B	演習		6			
デザインプロセス演習	演習		2			
デザイン論	講義		2			
ホリスティックデザイン演習 (三) A	演習			8		
ホリスティックデザイン演習 (三) B I	演習			4		
ホリスティックデザイン演習 (三) B II	演習			4		
ホリスティックデザイン特論 (三) I	講義			2		
ホリスティックデザイン特論 (三) II	講義			2		
ホリスティックデザイン特論 (三) III	講義			2		
デザインマーケティング	講義			1		
ホリスティックデザイン演習 (四) A	演習				10	
知的財産権	講義				1	
ホリスティックデザイン演習 (四) B	演習				10	
計		16	16	23	21	

## (カ) デザイン科 インダストリアルデザイン専攻科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考
		第1 年次	第2 年次	第3 年次	第4 年次	
インダストリアルデザイン演習 (一)	演習	6				全科目を必修とする
デザイン基礎演習	演習	4				
発想演習	演習	2				
材料学演習 (複合材料)	演習	1				
材料学演習 (プラスチック)	演習	1				
材料学演習 (塗料)	演習	1				
材料学演習 (木材)	演習	1				
材料学演習 (金属)	演習	1				
写真演習	演習	1				
形態論	講義	1				
インダストリアルデザイン演習 (二)	演習		11			
コンピュータ演習 I	演習		2			
インターフェイスデザイン	演習		1			
デザインプロセス演習	演習		2			
機械製図法	演習		1			
家具意匠論	講義		1			
近代デザイン論	講義		1			
インダストリアルデザイン演習 (三)	演習			13		
コンピュータ演習 II	演習			1		
人間工学	講義			2		
デザイン工学	講義			2		
製品計画論	講義			1		
インダストリアルデザイン演習 (四)	演習				6	
デザインマーケティング	講義				1	
インダストリアルデザイン特論	講義				1	
知的財産権	講義				1	
卒業制作	演習				10	
計		19	19	19	19	

## (キ) 工芸科 専攻科目

授業科目		履修年次及び単位数				備考
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
工芸演習 (一) A	演習	4				必修科目 32 単位 選択必修科目 42 単位
工芸演習 (一) B	演習	4				
描出演習	演習	1				染織、漆・木工、金工、陶磁のコースからひとつ選択し、A、Bをそれぞれ6単位、合計12単位選択
形態演習	演習	1				
色彩演習	演習	1				
材料学演習 (石膏)	演習	1				
コンピュータ演習 I	演習	1				
デザインプロセス	講義	2				
伝統文化論	講義	2				
工芸概論 I A	講義	1				
工芸概論 I B	講義	1				
工芸演習 (二) A 染織	演習		6			
工芸演習 (二) B 染織	演習		6			
工芸演習 (二) A 漆・木工	演習		6			
工芸演習 (二) B 漆・木工	演習		6			
工芸演習 (二) A 金工	演習		6			
工芸演習 (二) B 金工	演習		6			
工芸演習 (二) A 陶磁	演習		6			
工芸演習 (二) B 陶磁	演習		6			
古美術演習	演習		2			
現代工芸論 I	講義		1			
現代工芸論 II	講義			1		
デザイン演習 I	演習		1			
コンピュータ演習 II	演習		1			
工芸演習 (三) A 染織	演習			7		染織、漆・木工、金工、陶磁のコースからひとつ選択し、A、Bをそれぞれ6単位、合計12単位選択
工芸演習 (三) B 染織	演習			7		
工芸演習 (三) A 漆・木工	演習			7		
工芸演習 (三) B 漆・木工	演習			7		
工芸演習 (三) A 金工	演習			7		
工芸演習 (三) B 金工	演習			7		
工芸演習 (三) A 陶磁	演習			7		
工芸演習 (三) B 陶磁	演習			7		
地域工芸演習 I (社会研究)	演習		2			
地域工芸演習 II (産地研修)	演習			2		
複合素材演習 A	演習			1		
複合素材演習 B	演習			1		
デザイン演習 II	演習			1		
工芸演習 (四) A 染織	演習				8	染織、漆・木工、金工、陶磁のコースからひとつ選択し、A、Bをそれぞれ6単位、合計12単位選択
工芸演習 (四) B 染織	演習				8	
工芸演習 (四) A 漆・木工	演習				8	
工芸演習 (四) B 漆・木工	演習				8	
工芸演習 (四) A 金工	演習				8	
工芸演習 (四) B 金工	演習				8	
工芸演習 (四) A 陶磁	演習				8	
工芸演習 (四) B 陶磁	演習				8	
計		19	19	20	16	

## 別表第5

## 教職に関する科目

授業科目	履修年次及び単位数				備考
	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
教育の本質と目的	2				必修科目
教育心理学	2				〃
教職論	2				〃
教育課程論		2			〃
教育方法論・特別活動の指導法		2			〃
特別支援教育概論		1			〃
美術教育法Ⅰ		2			(中・高美術必修)
教育とICT活用		1			必修科目
道徳教育の指導法			2		(中美術必修)
教育相談の基礎と方法			2		必修科目
総合的な学習の時間の指導法			2		〃
美術教育法Ⅱ			2		(中・高美術必修)
美術教育法Ⅲ			2		(中美術必修)
美術教育法Ⅳ			2		(中・高美術必修)
工芸教育法Ⅰ			2		(高工芸必修)
工芸教育法Ⅱ			2		〃
教育制度と社会				2	必修科目
生徒指導・進路指導の理論と方法				2	〃
教職実践演習(中・高)				2	〃
教育実習事前事後指導				1	〃
教育実習Ⅰ				2	〃
教育実習Ⅱ				2	(中美術必修)

別表第6

## 博物館に関する科目

授業科目	履修年次及び単位数				備 考
	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
博物館概論	2				必修科目 19単位
博物館資料論	2				
博物館経営論		2			
博物館展示論		2			
博物館資料保存論		2			
博物館情報・メディア論		2			
生涯学習概論		2			
博物館実習Ⅰ			2		
博物館教育論				2	
博物館実習Ⅱ				1	
日本美術史Ⅰ	2				
日本美術史Ⅱ	2				
東洋美術史Ⅰ	2				
西洋美術史Ⅰ	2				
西洋美術史Ⅱ		2			
工芸史Ⅰ		2			
歴史	2				
科学技術史	2				
考古学		2			
文化人類学		2			

別表第7

学科	専攻	授業科目名（科目名に付記された専門分野は省略）
美術科	日本画専攻	日本画（一）Ⅰ、日本画（一）Ⅱ、日本画（二）Ⅰ、日本画（二）Ⅱ、日本画（三）Ⅰ、日本画（三）Ⅱ
	油画専攻	油絵（一）Ⅰ、油絵（一）Ⅱ、油絵（二）Ⅰ、油絵（二）Ⅱ、油絵（三）Ⅰ、油絵（三）Ⅱ
	彫刻専攻	彫刻（一）Ⅰ、彫刻（一）Ⅱ、彫刻（二）Ⅰ、彫刻（二）Ⅱ、彫刻（三）Ⅰ、彫刻（三）Ⅱ
	芸術学専攻	芸術学演習（一）、芸術学演習（二）、芸術学演習（三）
デザイン科	ホリスティックデザイン専攻	ホリスティックデザイン演習（一）A・B、ホリスティックデザイン演習（二）A・B、ホリスティックデザイン演習（三）A・BⅠ・BⅡ、描出演習、形態演習、色彩演習、素材演習、情報演習、発想演習
	インダストリアルデザイン専攻	インダストリアルデザイン演習（一）、インダストリアルデザイン演習（二）、インダストリアルデザイン演習（三）、デザイン基礎演習、発想演習
工芸科		工芸演習（一）A・B、工芸演習（二）A・B、工芸演習（三）A・B